**令和元年度第１回芽室町指定管理者評価委員会**

**（めむろ駅前プラザ・国民宿舎等）議事録**

令和元年９月17日（火）18：25～19：40

役場３階　説明員室

出欠：委　員　全委員出席

　　　担当課　紺野商工観光課長、小林商工観光課長補佐、我妻商工振興係長

　　　事務局　齋藤公共施設マネジメント係長、金沢

**１　開　会**

　委員長から挨拶

**２　委嘱状交付**

　今年度から委員となった谷口委員、田原委員に委嘱状を交付

**３　議　事**

**（１）事業評価の方法について**

（事務局）基本方針に基づき説明

（田原委員）各施設関与していない点の評価についてはどうするか。

（事務局）平均点を付す場合もある。

（委員長）知人等からの評価や、他町の施設との比較といった視点で評価いただきたい。

**（２）事業評価**

**ア　めむろ駅前プラザ**

（事務局）資料に基づき説明

（我妻係長）補足。P.21、「安全・衛生管理・防災・災害対策・施設整備・清掃」欄の平成30年度実績、大規模外壁塗装工事については、めむろーど管理協議会が発注している事業で、町、駅前プラザの店舗等がそれぞれ相応の負担をして実施しているものである。

●全体

（谷口委員）２階のショーケースはどこが管理しているか。（壁側のもの）

（小林補佐）観光物産協会である。

●サービス向上、利用促進

（田原委員）使用申請には丁寧に対応していただいている。照明節減に努めており、使うタイミングで点けてもらう等、配慮されていると感じる。また、我々は使用料減免を受けており、サービスとしては良いと感じている。職員、警備の対応も良く、丁寧に接していただいている。

（織田委員）職員は３階が駐車場だが冬期間滑りやすく、歩行が困難である。

（委員長）担当として改修計画等あれば発言をお願いしたい。

（我妻係長）20年経過し、計画的に修繕を実施している。駐車場についても利用者の方から御意見いただいている。現時点での実施予定は決まっていないが、改修予定項目としては上げている。

（谷口委員）Wi-Fiが非常につながりにくく、あまり使えていない。

●利用者意見（苦情含む）対応

（委員長）直ちに評価に移る。

●接遇

（委員長）「サービス向上、利用促進」の項目で田原委員から御意見いただいたほかに何かあれば。

（織田委員）以前は苦情を受けている警備職員がいたが、現在は特に問題ないと感じている。

●適切な施設、設備、備品の維持管理

（質疑等なし）

●安全管理の取組

（委員長）ロードヒーティングの不具合は改善したか。また、原因は特定したか。

（我妻係長）今年度冬季に向けて改修予定。断線箇所も把握している。

●予算の適正執行、●経費縮減の取組

（質疑等なし）

●確認項目

（質疑等なし）

イ　国民宿舎等

（事務局）資料に基づき説明

（委員長）キャンプ場については、台風の影響により被害を受け閉鎖している。また、国民宿舎の平成29年度利用者数は、台風の災害復旧工事により一時的に利用者が増加したもの。平成30年度は赤字となっているが、複数年間の指定管理期間の中で調整される。

●サービス向上、利用促進

（委員長）昨年度記録的な少雪の中、降雪機を使用しでゲレンデを整備しており他のスキー場がオープンしていない中ゲレンデを開けた実績がある。利用者からも高い評価を得ている。コメントを付してほしい。

　　　　　パークゴルフ場について、台風で一部コースが流されており平成30年度に復旧工事、現在養生期間となっている。今年度コース認定を受けるとのことだが、現在どのような進捗か。

（小林補佐）今年10月から利用できるよう認定コースの更新申請を行う。

（委員長）暫定コースはどうなるか。

（小林補佐）10月から廃止となる。

●利用者意見（苦情含む）対応

（質疑等なし）

●接遇

（質疑等なし）

●適切な施設、設備、備品の維持管理、●安全管理の取組

（質疑等なし）

●予算の適正執行、●経費縮減の取組

（小林補佐）補足。めむろ新嵐山株式会社は、町営牧場の運営を受託しており、その収益を合わせると、会社全体の収支としては180万円程度の黒字となっている。指定管理としての収支は赤字となっているが、会社としての収支は黒字となっている。

●確認項目

（質疑等なし）

●評価後

（事務局）本日回収した評価シートをもとに事務局で集約を行う。集約結果は郵送等で各委員に送付するので、後日評価結果の確認をお願いしたい。

３　その他

（委員長）国民宿舎等の今後のうごきについて、可能な範囲での説明を願う。

（小林補佐）今年度サウンディング調査を行っている。その結果を踏まえ今年11月を目途に基本方針を策定し、いただいた意見等を公表する。また、あわせてパネルディスカッションを開催し、町民の皆様から意見を貰う。これらに基づいてR2.6に向けて公募を実施していく予定である。

（委員長）町民のための施設という性格が強かった施設を、交流人口を増やすための施設として民間の力を借りながら方向転換を行う予定である。